

ワタカ標識種苗放流結果

根本 守仁

◆背景・目的

琵琶湖固有種であるワタカは、その食性から水草大量繁茂の抑制に効果があることが明らかとなっているが、その資源は著しく減少している。このため、2002年度から種苗放流が実施されている。そこで、今後標識放流による放流効果調査を実施することを前提に、種苗生産を実施して標識を施して放流した。

◆成果の内容・特徴

- ・採卵は、自然採卵またはホルモン処理による人工採卵により行った。7月17日～9月3日までで10回行い、得られた孵化仔魚は、1,896,200尾であった。
- ・ふ化後約40日目まで初期生産とし、屋外池内の網イケスまたは池に直接収容して生産した。池に収容したものについては取り上げを行わなかったため計数していないが生残率を30%と仮定すると、398,600尾の稚魚が得られた。
- ・中間育成は、放流までの期間、屋外池に収容して生産した。生産状況については、稚魚から収容したものでは生残率がすべて80%以上であり良好であった。結果として、平均体長22.65～38.16mmの種苗、386,000尾が生産された。
- ・放流結果を表に示した。南湖へは、3月1および2日に平均体長27.75～30.13mmの種苗、224,300尾を放流した。西の湖へは、3月13および14日に平均体長22.65～38.16mmの種苗、161,700尾を放流した。なお、すべての種苗にALC標識を施して放流した。

◆成果の活用・留意点

今後は、標識放流魚の追跡調査を実施し、放流魚の成長、生残状況、放流場所からの移動状況等を解明していきたい。

表 ワタカ放流結果

No.	月日	放流水域	尾数(尾)	平均体長(mm)	標識
1	3月 1日	草津市下寺町地先	38,050	29.49±4.72	ALC(リング)
2	3月 1日	草津市下寺町地先	34,700	30.12±3.81	ALC(リング)
3	3月 1日	守山市木浜町地先	38,050	29.49±4.72	ALC(リング)
4	3月 1日	守山市木浜町地先	34,700	30.12±3.81	ALC(リング)
5	3月 2日	草津市北山田町地先	44,700	30.13±3.89	ALC(リング)
6	3月 2日	守山市木浜町地先	34,100	27.75±3.76	ALC(SR)
南湖合計			224,300		
7	3月13日	安土町下豊浦地先	21,800	38.16±4.80	ALC(二重リング)
8	3月13日	安土町下豊浦地先	96,300	29.14±3.62	ALC(リング)
9	3月14日	安土町下豊浦地先	35,000	29.71±4.58	ALC(SR)
10	3月14日	安土町下豊浦地先	8,600	22.65±7.23	ALC(SR)
西の湖合計			161,700		
合計			386,000		

* 本報告は水産庁による平成18年度湖沼の漁場改善技術開発委託事業の成果の一部である。